

アイデアを生かしてくれて施主支給や施主施工も自由自在 自分たちの希望通りに建てられるBeハウスの原価公開方式

高低差のある地形にも
強固な造りで安全確保

消費者住宅セミナーに参加して、Beハウスの原価公開方式の家づくりを知った木村さんご夫妻。希望の土地が見つかったと、さっそくBeハウス相設計室を訪ねたそうです。

ご主人 ● セミナー以降、Beハウスの名前がずっと頭に残ってました。原価公開方式の安心感に加え、完成見学会にも何度か行つて、造りがしっかりしていることを確認できましたので、ほかの参加者の方々も皆さん同じことを言っていました。

横田 ● ロフトアイアンやガラスブロックなど、木村様は施主支給を上手に活用されましたね。構造面では東向き丘陵地という立地条件を考慮し、西面は2×6にして基礎を高く立ち上げるなど堅牢性を高めました。プランには奥様のご提案がたくさん盛り込まれています。

奥様 ● 一生住む場所なので、納得いくまで睡眠時間を削って考えました(笑)。仕切りのないオープンな家にするということ、特にパティオは絶対条件。以前の家は通りに面していたので、せつかく庭があつてもカーテンを閉めて暮らしてました。でもパティオなら、いつでも開放して外の空気を入れられます。

横田 ● パティオやリビングの吹き抜けの壁は、奥様が何日もかけて自身で塗装されました。初挑戦だったそうですが、よくできています。

奥様 ● 壁にはすここだわりました。パティオの方はレンガ調のサイディングの上にさらに塗装して、古びた感じを出しています。リビングの方はヨーロッパの建物の外壁をイメージして漆喰を塗り、照明もあえて外灯用のものを選びました。これからは少しずつ塗つて、各面で色を変えたりして遊ぼうと思つてます。

ご主人 ● 僕もオーデイオやL



広いバルコニーは夜は光を浴びるポイント。ウッドデッキもポイント。

ANKケーブルの配線を自分でやりました。オーデイオは全館スピーカーにして、家じゅうどこにいても音楽が流れます。LANコネクタは全部で24か所、TVや電話も全部ネットワークを使って接続しているので、部屋のレイアウトを自由に変わらせます。

横田 ● 奥様が部屋の模様替えをしてTVなどの位置が変わっても、電源やアンテナのコードを引き回す必要がないそうですよ。

ご主人 ● 電気工事の職人さんとは事前に顔を合わせて一緒に打ち合わせして、現場では工具も貸してもらいました。よそで家を建てた仲間にも聞いて、壁塗りや配線を自分でやらせてくれたり、職人さんとの打ち合わせを設けてくれるなんて、聞いたことがないと思つてました。

横田 ● ハウスメーカーは決められた仕様しかやってくれませんし、建築家もその人の感性で進めちゃう人が多いようです。

ご主人 ● 僕たちの希望通り、ちゃんと話を聞いて建ててくれる会社を探しました。本体の工費は2,000万円ちょっと、この値段でここまでできるのは、Beハウス以外にないと思います。

(聞き手/池田充雄)



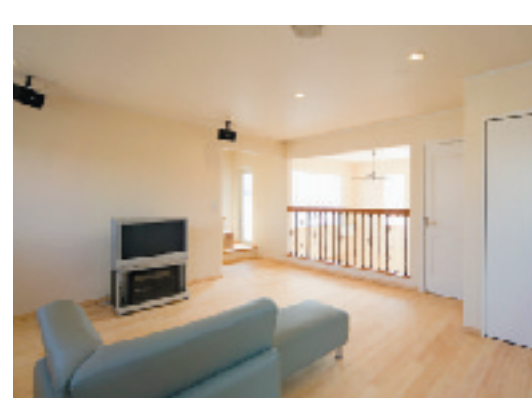
床は全フロアともニュージーランド産ラジアータパイン。自然塗料で無垢材の良さを引き出しました



パティオの外壁は、ヨーロッパの古いレンガ建築をイメージしました。まるで映画のワンシーンのよう



上左/吹き抜けにあるガラスブロックの窓から、日射しがたっぷりと降り注ぎます
上中/リビングから浴室への通路に書棚とカウンターを造り付け、書斎に活用しました
上右/正面外観。手前のガラス扉はアトリエの入口で、陶芸や木工を楽しんでいます
下左/ホームシアターにもなる2階ホール。将来の子供部屋ですが、仕切らずに自由な使い方をさせたいそうです
下右/木村浩也さん・かおりさん・琉生(リゅうい)くんご一家と、Beハウス相設計室の横田守さん



Beハウス

— デザイナーとつくる家 —

<http://www.behouse.jp/>



Beハウス相設計室